

「国見ヶ丘・吉成・南吉成地域の魅力再発見」

吉成市民センター×青葉区中央市民センター

1 事業概要

吉成市民センター周辺の豊富な自然資源と歴史資源について学習し、その魅力を地域に伝えていくことを目的とした講座です。平成30年度にボランティア団体「くよみ郷土研究会」が発足。仙台青陵中等教育学校の学校林「青陵の森」の整備や自然観察、「中山街道」「芋沢街道」などの歴史資源についての学習や、まち歩きなどを通して、地域の魅力を伝えています。



芋沢街道歩き 火薬庫跡

2 令和4年度の活動



オンライン地域紹介
臨済院地内弁財天堂

昨年度作成した「青陵の森の植物たち」、「よしなりまちまっぷ」を活用し、青陵の森の自然観察会やまち歩きなどを積極的に行っています。地域の小学校の地域学習で、臨済院地内弁財天堂や芋沢街道を子どもたちに案内するなど、地域講師としても活躍しました。

また、沖縄県八重瀬町で活動する団体「八重瀬町ガイドの会」とオンライン上で互いの地域をリアルタイムで紹介し合ったほか、吉成市民センターまつりでこれまでの学習成果を展示発表しました。

3 成果と課題

研究会が発足してから4年が経過し、会員数も増え、活動もより活発になっています。その内容も、自らが学習することを目的にしたものだけでなく、魅力を伝える機会も増えてきました。今後も自然環境や、歴史についての専門性を高め、地域の子どもや住民へ魅力を伝えるためのスキルアップが必要と考えています。



国見ヶ丘自然探検 桜の水辺公園

4 今後の展望



青陵の森 自然観察会

研究会では現在、今年度2月の完成を目指して、芋沢街道の特徴のひとつである「標高差」に焦点を当てたマップを作成しています。また、「センダイ」と名の付く植物を収集しており、来年度に開催を予定している「全国都市緑化仙台フェア」への出展に向けて準備を進めています。展示期間が終了した後は、展示した植物を地域の公園へ植樹する予定です。

今後も、国見ヶ丘・吉成・南吉成地域の魅力をより多くの方々に知っていただけるよう、研究会の活動を支援していきます。